

湘友会報

第42号・2000年発行

湘南高等学校湘友会事務局

〒251-0053 藤沢市本町 3-1-3 湘南ビル 301

電話・fax0466-50-0386

会報文中の氏名に付した 数字は卒業年次を表します。

2000年度湘友会総会のご案内

日時 2000年6月26日(土)
 受付:10時00分 開会:10時30分
 場所 湘南高校内
 湘南会館(総会・アトラクション)
 清明会館食堂(懇親会)
 会費 懇親会費として3000円
 当日会場で受付ます。



「カンツォーネを歌う」

独唱 30回生 内藤正彦氏

...定年後 プロ歌手としてスタート...

カンツォーネのプロ歌手として昨年スタートした内藤氏は、大学時代にデルモナコのテノールの肉声に触れ強烈な印象を受けたと言う。当時、中川牧三(元大阪音楽大学学長)、高井四郎の両氏について声楽を習っていたこともあったが、卒業後は企業に入り、ニューヨーク・デュッセルドルフ・ジャカルタなどでの比較的海外勤務の多い生活であった。その間、やはり好きな歌の道は合唱団やサークルを通して続けられた。ジャカルタで歌った時、彼の歌を聴いた人から「帰国したら是非、奥 則夫先生の門を叩くように」と言われ、退職後本格的に師について勉強し、プロとしてデビューするに至った。

師の奥 則夫氏は、「内藤氏はカンツォーネを歌う時、心から楽しんでいる。スケールの大きさと素質がある。物真似でなく、歌のセンスとキラリとした表現力がある。これこそが歌い手にとって大切だと思う。」と語っておられる。高校時代の合唱部から始まり、ここに夢開かせた内藤氏のカンツォーネを大きな拍手でお迎えしたい。

<略歴>

内藤氏の略歴につきましては、
 おてもとの湘友会報をご覧ください。

総会へ大勢のお出かけをお待ちしております。

総会では、会務・会計・監査などの報告と議事その他が行われます。総会に続くアトラクションは、「カンツォーネを歌う」と題して30回生の内藤正彦氏の独唱です。(詳細は右記参照)なお、当日は湘友会名簿・記念ビデオ・記念テレフォンカードなども販売します。お誘い合わせてどうぞお出かけ下さい。

今年は0回生シリーズが総会を運営担当

西暦年号に合わせて卒業年次末尾1桁の会員が総会運営に協力して、輪番制で総会運営が行われるようになってから、今年で5回目になりました。今年は0の年です。10回生・20回生には敬意を表して見守っていただくとして、30・40・50回の方々が張り切って企画して下さいました。運営の方法も、毎年引き継がれて蓄積され、準備もスムーズに行われるようになりました。

総会の受付場所は湘南会館(多目的ホール)入口ホールに置かれますが、ここでの受付事務や懇親会会費3000円納入受付事務、湘友会Tシャツ・ビデオ・テレカ販売などは50回生・定時制・通信制の会員が担当します。

総会後のアトラクションの企画運営は30回生の担当です。今年は、定年退職後プロデビューされた同期生 内藤正彦氏の「カンツォーネを歌う」が用意されました。和やかな楽しい雰囲気盛り上がりそうです。

続いて、会場を清明会館の食堂に移して懇親会が開かれます。取り仕切ってくれるのは40回生です。立食パーティで、年齢を超えた心弾む語らいの場になるのは間違いなさそうです。参加者が多くなるほど楽しくなります。

全日制 30・40・50・60回生と
 定時制・通信制 10・20・30回生の皆さんへ
今年は0の当番年です
十年会費の納入をお願いします
 納入はこの会報に同封の赤色の郵便振替用紙で

1997年より湘友会の会則が変わったことをご承知

の事と思いますが、新会則の目玉が、総会運営への輪番参加と十年会費です。新会則により西暦年号末尾と一致する年次が、輪番で行事運営に当たるとともに、十年会費 5000 円を納めるシステムになりました。卒業後 10 年未満と 65 歳以上の会員はこの対象から外しております。

3 万人を超える会員に向けての会報発行や郵送費だけで年間数百万円にもものぼり、会の健全財政を維持する上で苦しい状況にあります。この点充分にご理解をいただき、ぜひともご協力をお願いする次第です。(十年に一度の 5000 円会費は、年当たりでは 500 円です。どうかよろしく)

該当する年次の会員には郵便振替用紙を同封させていただいています。

十年会費未払いの方へ

上記のように、1997 年から担当年の OB から十年会費をいただいておりますが、末尾 7、8、9 で当番年に未払いの方は以下にお振込みいただけます。

郵便局振りこみ 口座 00250-4-14177 湘友会
振込額 5000 円

用紙は郵便局にある振込用紙に、

十年会費・卒業年次・氏名・住所を明記してください。

湘友会名簿 2001 年版発行に向けて

われらが母校も、あと 1 年後(2001 年)に創立 80 周年を迎えます。これを記念して湘友会名簿 2001 (創立 80 周年記念)発行を計画しております。(現在の名簿は 75 周年記念の 1996 年版) するために、この会報とは別に、間もなく、湘友会を明記した調査票が送付されます。調査票は、各自の変更・訂正と同時に予約申込みが返信できるようになっております。

< 学年会・クラス会の幹事の方へ >

最新のクラス会等の名簿があれば、湘友会へ送っていただくと、不明者確認に役立ちます。

251-0053 藤沢市本町 3-1-3 湘南ビル 301
湘友会 名簿訂正担当 宛

なお、紛らわしい名を語る他の名簿業者の勧誘に、ご注意ください。

湘友会事務所のご案内

湘友会事務所が湘南高校と藤沢駅との中間にあります。事務所には月・水・金の午後 1 時~4 時の間、担当が詰めて、湘友会の事務にあたっています。湘友会に関するお問合せは、当事務所にいただくのがもっとも確実です。

事務所の広さは約 30 m²、同期会・クラス会・支部の打合せなどにぜひご利用ください。場所は、藤沢駅と母校を結ぶ昔の湘南通りの中間の小田急線ガード脇、神奈川トヨタ真向かいの 3 階建てビルの 3 階です。道に向かって 3 階の窓に湘友会と書いてあります。

251-0053 藤沢市本町 3-1-3 湘南ビル 301

電話 & Fax 0466・50・0386

逝去された先輩を偲び 80 周年に反映させよう

会長 杉山 巖²⁷

天野会長を助け、藤沢支部長として会長代行を務め、次いで 3 代会長として 17 年間、1 回生の中心として母校湘友会のため一貫して尽力された増田先輩が逝去された。92 歳だった。9 回生の吉田義信氏は、戦後いち早く同期会を結成、「からす森会」と名付けて模範的な運営をした。また藤沢支部の 3 代会長も勤められたが、年末病没された。また 18 回生の桜井睦文先生は、母校の教諭そして校内幹事長として病気を押しつけて尽力、退かれた後も参与として、また藤沢支部発展に努力されたが、昨年 3 月永眠された。

3 先輩とも藤沢支部の発展、湘友会の運営には生涯献身され、母校の 80 周年を目前にして亡くなられたのは真に残念である。我々は 3 先輩をはじめ幾多の同窓生、父兄、地元の有志の方々の厚意を忘れることなく、母校の発展と同窓会の充実を目指して力を結集したい。

新校長就任... 県教委から斎藤先生



湘南高校長 斎藤 俊英

この 4 月 1 日付の異動で、県教育委員会高校教育課から着任いたしました。着任してまず気づいたのは、本校には、素晴らしいものがたくさんあるということです。

創立以来の特色である、『文武両道』もその一つです。30 年前に、こうした教育を掲げたことは、大変に先見の明があることでした。今や本校の素晴らしい伝統となっていますが、私は、こうした教育を、他に誇ることのできる特色として、一層発展充実させて行きたいものと思っています。

また、神奈川では今、生徒数が大幅に減少し続けていますが、それにともなって、校舎にもゆとりが出てくるなど、教育条件を整える絶好のチャンスが到来しました。そこで、本校においても、カリキュラムをはじめとして日々の教育活動を見直し、生徒一人ひとりの個性を生かし、進路希望に応じた教育を進めるまたとない機会が来たと思っています。

80 周年の節目を迎え、湘南高校を 21 世紀へどう繋げていくか、これが私に課せられた大きな課題だろうと考えております。もとより微力ではありますが、全力を傾注する決意です。OB の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻をお願いいたします。

湘南高校 NOW



古き湘南と新しき湘南

湘南高校(あるいは旧湘南中学)を卒業してから、まだ一度も母校を訪れたことがないという会員の方々が、大勢いらっしゃるのではないのでしょうか。おそらくそのような方々は、本校の校舎や生徒の変化についてはほとんどご存知ないかも知れません。

私達現役教師は、そのような古いOBの方々から「現在湘南高校には女性の教員はいるのか?」「生徒の自転車通学は許されているのか?」「ルーズソックスや茶髪の生徒はいるのか?」「携帯電話を持っている生徒はいるのか?」「生徒が校外で飲食すると停学になるのか?」などという質問をされることがあります。現在の湘南高校をよく知っている者の感覚からすれば、これらの質問には失笑を禁じえないといったところですが、母校を離れて久しい方々にとっては当然の疑問なのでしょう。このようなとき、私はまじめに湘南高校の現状について答えることにしています。

先年、私はある会合で、旧制湘南中学を卒業されたという方と会話の機会がありました。母校を大変懐かしがっておられるので、「湘南高校の新しい校舎はもうご覧になりましたか?」と尋ねると、その大先輩曰く、「うん、20年くらい前に見たことがある」とのこと。私が「新校舎は、まだ幾年も経っていませんよ」と言うと「そんなことはない。30年以上前に建替えたはずだ」といわれ、どうも話が噛み合いません。

失礼ながら、さてはご老人特有のあの症状かと思ったのですが、よく話を聞いてみると、この大先輩の言われる新校舎とは私の思っている旧校舎のことで、この方にとっての旧校舎とは焼失した木造校舎のことでありました。

本校を卒業して20余年になる私との間でさえ、このように話が食い違つたとなると、孫と祖父、あるいはそれ以上の年齢差がある現役の高校生と旧制中学OBの間では尚更のことに違いありません。

古い大先輩が現在の湘南高校をご存知ないように、現役の湘南生は昔の母校の様子をよく知りません。昔のことを生徒に教えない教員が悪いとお叱りを受けそうですが、現在はせいぜい10年程の勤務で異動しなければならぬため、残念ながら教員自身が古い時代の湘南を学び尽くさないうちに他校へ移らざるを得ないというのが現状です。

そこで、私は現役の生徒諸君が、昔の湘南高校や湘南OBについてどの程度知っているかについていろいろ尋ねてみることにしました。以下、問とあるのは私の質問、A~Gはそれに対する答えです。なお、取材

は2000年3月に行いました。相手は地理研究部の部員達です。

問：湘南高校は何年前に創立されたのか知ってるか?

A>よくは知らない。50年くらい前かな?

B>違う。70回以上の卒業生がいるのだから創立後80年くらい経っていると思う。

(2001年で創立80周年となるのですが、正確に知るものは少ない。しかし概ね80年前後と言うのは多くの生徒が把握しているようです)

問：創立当時の校長の名前は?

C>校門を入ったところにある銅像が初代の校長先生だというのはわかるが、名前は知らない。

D>知ってる、赤木愛太郎先生!

(インタビューした限りにおいては、赤木先生の名は意外に知られているようです)

問：湘南卒業生の有名人を知ってるか?

A>都知事の石原慎太郎さん、あと野球評論家の人、名前は忘れた。

E>石原慎太郎さんしか知らない

(石原氏の知名度が圧倒的。次いで神奈川県知事の岡崎洋氏。以前なら佐々木信也氏や宮崎緑氏のお名前が挙がったのですが、最近TVにあまり出ていないせいか、出てきません)

問：日本の国技は相撲、それでは湘南の校技は何か?

F>わからない、予想もつかない。

B>縄跳び!

G>あ、そうか、たぶん縄跳びだ。

(この後、一同爆笑。若いOB諸氏の中には同様に思った人もいるのでは? 正解はサッカーなのですが...)

問：かつて湘南が全国制覇したスポーツは?

A>野球。

B>サッカーも。

(野球部の全国制覇は広く知られており、サッカー部についても知っている者はいます。しかし、いつ頃のことかはあまりわかっていない様子)

問：湘南にオリジナル応援歌がいくつかあるが、いくつ知ってる?

A>いつも応援団が歌っている「青春の歌」は知ってるけど.....

(「湘南健児の歌」「若人の歌」「嗚呼湘南の朝ぼらけ」「我等は湘南」「選手を送る歌」「五丈原頭」「朝の歌」「夕の歌」などですが、ほとんど知られていません。恥ずかしながら私も2、3しか知りません)

問：湘南の古い卒業生についてどう思う?

H>ウチの部は毎年、寄付金をいただいているし、忙しい中、わざわざ文化祭も見に来てくださって感謝している。期待にこたえて頑張りたい。

(OBから物心両面で支援されていることについてはみな感謝している様子でした)

(校内幹事・長澤郁夫⁴⁹)

定時制部会活動報告

定時制部会代表 田添 正

1. 定時制部会の主な活動

6月文化祭当日総会の開催
 定時制部会報の発行
 入学式・卒業式・体育祭での後輩の激励
 卒業記念品の贈呈
 全国大会出場選手への補助等
 新校舎落成記念として各教室に時計を寄贈
 なお、現在奨学金制度を設け学費支弁が困難な生徒を援助する方向で検討を進めておりますが、定時制部会の財政基盤の確立が今後の大きな課題です。

2. 第1回湘友会定時制部会全体同窓会の開催

定時制部会では、平成10年4月に第50回の入学式を迎えたことから、定時制課程創設50周年を記念し、第1回全体同窓会を同年9月6日に藤沢市民会館で開催しました。当日は、元教頭与野先生の文部大臣教育功労賞受賞記念会も兼ね、北は北海道から南は九州まで、第1回生から現役代表まで約150名の同窓生が参集し、盛大に開催されました。湘友会からは杉山会長、通信制部会若命会長、学校側から田村校長、佐藤教頭、遠くフィリピンから九島元教頭等の参加もあり、恩師の先生方を囲んで50周年を祝い、懇談の輪が広がりました。その後2次会としてクラス会が三々五々行われ、意義深い1日でした。

3. 日本・オランダ友好400周年記念行事鎌倉公演支援

定時制9回生の河野克史氏が実行委員の担当者として、2000年7月17日に鎌倉芸術館でオランダ市民によるプラスバンドのコンサートが催されます。成功に向けて定時制部会でも支援のため2月3日に準備会を開催。国際交流の一環として多くの湘友会員の参加をお願いします。



支部だより

藤沢支部

1999年度、藤沢湘友会夏の集いは8月28日(土)今回より場所を藤沢グランドホテルに移しパーティ形式で食べ放題、飲み放題を楽しみました。約130名の会員が湘南高校弦楽部OBの奏でるバックグランド・ミュージックを聞きながら、総会、懇親会、ビンゴゲームと華やかな一時を過ごしました。

ミレニアム(2000年)の今年は、8月26日(土)藤沢グランドホテルに於いていつもより早めの午後4時より講演会をもち、その後に総会、パーティを企画致し

ております。

講演会は、筑波大学副学長・長谷川鎮雄先生²⁸の「生活習慣病とスポーツ」と題して藤沢医師会、神奈川県医師会共催、藤沢湘友会後援の形で行われます。講演内容は、生活習慣病とその予防、日常生活への具体的なスポーツの取り組みです。予防もかねて誰もが関係を持つであろう内容で、若いOBの方にも興味深いものと思われまます。講演を聞いて、日頃のご自分の健康チェックをなさるのも良いのではないのでしょうか。藤沢在住のみならず、他市の方々を含め大勢のご参加を役員一同期待しております。(宮代昭子³⁶)

鎌倉支部

鎌倉支部は逗子・葉山を含めて活動し、数年ごとに総会を開き、毎年幹事会を開いているが、今年は5月21日(土)5時から鎌倉二の鳥居前の浅場屋で幹事会が開かれた。母校の様子、近況やこれからの活動について話し合われた。

この幹事会は、毎年春に開かれ、過去・現在の鎌倉・逗子・葉山に在住・在勤の方なら誰でも自由に出席できます。気軽に下記へご連絡ください。

事務局 03-3595-1539
 (株)ハート財産パートナーズ 林 弘明⁴¹

湘北支部

平成11年8月1日、小田急センチュリーホテル相模大野で湘友会を開催。学区外となってしまったためか、集まった会員は約30名。広井支部長²⁰の挨拶で始まり議長選出、事業報告、会計報告、監査報告、11年度事業計画、予算案等を可決、次いで本部の澤参与の母校の現状、県立高校の統合、2年後の創立80周年行事予定などの報告で議事は終了。その後、「医療の進歩」と題して相模原医師会長矢島治先生¹⁹の特別講演。出席者からの健康管理の質疑応答も交えて有意義な1時間の後、懇談会で楽しいひとときを過ごしました。

湘北支部は、大和、座間、綾瀬、海老名、相模原がエリアです。私たちは、平成11年体育の日に広井会長以下20名でウォーキングを行いました。今回は大和が当番で、大和を水源とする引地川に沿って下りました。

昼食は川のほとりの「台湾亭」というあずまやでとりました。大和には戦争中に、旧制中学卒業の夢を抱いて、八千人の台湾少年工が戦闘機を造りながら学んでいました。彼らは志半ばで帰国しましたが、最近「第二の故郷」大和市へこの「台湾亭」を贈ったのです。彼らの間で湘南中学の赤木初代校長の講話が有名です。先生の「少年老い易く学成り難し」の詩吟を聞いて発奮、大学まで進んだという人もいます。花で有名な常泉寺で解散しましたが「体力向上と郷土の歴史を知ることが出来てよかった」、「共に汗を流すのは交流のために有意義だ」を誰もが実感する一日でした。(石川公弘²⁸)

茅ヶ崎支部

平成11年11月23日に総会開催。亀井支部長の辞

任表明を受けて、善後策を協議していた役員会では後任候補を決めるに至らず、今後一年間をかけて検討し、来年度総会に提案するに至った。総会はこれを承認。来賓の添田参与からは、茅ヶ崎支部が戦後最初に結成され活動を開始、他支部がこれに倣ったという輝かしい歴史を述べられ、当支部の活動発展が要望された。

いつも通り会場を埋める参加者は、心なしか静かな雰囲気、女性軍の琴の演奏も盛り上がり足りない。伊藤留治君²⁶(ヨーカドー)からは、「人事を若返らせて復活させよう」と心強い意見があった。(添田)



平塚支部

平成11年12月4日プレジールを会場に支部総会が開かれ、来賓に鈴木忠夫先生、大磯町長片野君、斎藤君²⁵、本間君²⁶等に加えて特別参加の菊池雅子、栗田敦子さん等、計67名が参集。予め幹事会で検討された役員人事案が発表され、10年間尽力された細谷支部長¹⁹・大木幹事長²⁶が退いて、新会長に飯島則忠²⁶、副会長に樋口貢²⁷・松井容子³¹、幹事長に田中道夫³⁶の諸氏が決定した。

毎回ごとに参加勧誘をして、毎回多数の参加を見ているが、近年の学区変更のため若い人の参加の少ないのが寂しい。(添田)



横浜支部

平成11年10月1日(金)午後6時より、横浜西口の相鉄グループの「横浜ベイ・セラトンホテル&タワーズ」にて第10回「横浜湘南会」を開催。ゲストに添田参与、葉山峻衆議院議員²⁷、片野一雄大磯町長²⁵、深町宏大磯町助役²⁸、番場定孝県会議員³⁴、斎藤勝洋横須賀支部長³⁵等多彩な顔ぶれを迎え、片岡横浜湘南会事務局³⁷の司会のもと星野正宏支部長²⁷の挨拶に始まり、澤湘友会参与²²や杉山巖会長より母校の様子や湘友会の活動報告がおこなわれた。また、池田元久衆議院議員³⁴を始め議員さんや首長さん、さらに今年も応援参加の東京湘南有志会等の一分間スピーチがあり、常連や新顔80名余の会員が思い出話や商談に花を咲かせ、賑やかに

懇親の一時を過ごしました。最後に杉山会長ののメールで締めくくり、来年の再会を約して散会。

尚、本年度で支部長が星野正宏君²⁷から後藤次郎君³⁸へ交代。後藤君は、会員150余名を擁する浜銀湘友会の会長代行を務めており、現在横浜銀行常務取締役役に在職中です。(片岡 正³⁷)

西日本支部

第8回総会を例年のように、平成11年11月の最終土曜日27日4時から福屋で開催。司会は平岡豁君³²、井上支部長³⁰の挨拶で開始、乾杯は菅井勇蔵氏)、はるばる本部からの澤参与²²から湘南高校の現況、進学状況、対浦高戦、神奈川県立高校統合の話、藤沢で開催された高校野球全国制覇50周年の会、2年後の創立80周年の行事予定などの報告があり、その後懇談。韓国への出張帰りで駆けつけた横田貞二君³⁵の「バラ」についてのショートスピーチ、全員の自己紹介・近況報告となった。約40名の歓を尽くしての会合も9時頃、殿塚悌二郎君³²の閉会で中締めとなり、校歌斉唱で終了。有志は二次会へ。(澤)

九州支部

ミレニアム2000年！我らが母校湘南高校は21世紀に向かってのさらなる飛躍のために万端足りなく準備中のことと存じます。九州・山口地区在住のわれわれは平成11年度には第26回第27回の2度も九州湘友会を開催してがんばっております。

第26回九州湘友会 平成11年3月13日開催

事務局代行・中村信一³³の進行で会長・鍋島直輝³⁰の挨拶に続き、楠田雅彦²²の音頭により乾杯、その後出席者の自己紹介がおこなわれ各所に懇親の輪がつけられた。九州湘友会の元幹事・山崎公夫(43・現藤沢市在住)のリードで湘南高校校歌を全員声高らかに斉唱し、和やかな雰囲気の中会合を終えた。



第27回九州湘友会 平成11年11月6日開催

九州・山口地区在住のわれわれは平成11年2度目、第27回九州湘友会を開催致しました。前回に引き続き山口のOBにご案内したところ、お二人が参加して下さいました。事務局代行・中村³³の進行で会長鍋島³⁰の挨拶に続き、福田先輩¹⁸の音頭により乾杯、その後出席者の自己紹介が行われ懇談に時間がもたれました。

次の開催予定 平成12年5月頃の予定

湘友会九州支部会長 鍋島直輝 30
事務局長代行 中村信一 33

学年会だより

5 回生 いよいよ米寿の会です。

平成 11 年 9 月 17 日藤沢「にはや」で会合をもった。年齢合計 440 歳、お互いの感想は「老けたものだ」。だが、話題は湘中時代の思い出、家族、健康問題と多彩なり。「続けてやろうよ」となるのは OB 最長老の自覚からか。（添田）



7 回生 米寿まであと 2 年！

平成 11 年 9 月 20 日、湘 7 回総会が藤沢にはやで開かれた。常連加藤君が病気で欠けて 14 名。少し耳の遠くなった会員もいて懇談のいくつかの輪は大声が飛び交う。例年のとおり外岡君の寄付、金井君手ずからの大福餅、そしてお孫さんと近江堂の菓子折を下げつつ解散。米寿まで頑張ろうと。（添田）

10 回生 悠久の会

11 年度総会で存続が討議された実快生(じっかいせい)の会が、中村晃一君を中心に曾我道也君等が世話人となり、悠久の会と改称して再出発することになり、今年 5 月 14 日総会を開催。

11 回生

11 回生のためにあるような平成 11 年 11 月 11 日、この上はないという日に定期総会。ところがどうしたとか参加者が少なく 14 名、来賓 2 名という会合となった。しかし懇談会になると、小人数だけに時間の制限もなく、質問・意見も加わり内容の充実したものとなった。毎年関西から参加の菅井勇蔵君から自著「聖徳太子の実像」を全会員に贈呈。添田参与からこれまでの著作を一括して母校図書館に寄贈されるよう要請された。（添田）



14 回生

会長野中勇君の細かな配慮と準備で今回も横浜駅西口で平成 11 年 10 月 4 日に開催。18 名の会員と春原、添田先生が来賓。常連が多かったが、自己紹介には各自

の研究題目や健康管理などを披露。毎回浅生君の写真技術による記念スナップの数々が、野中幹事長の解説で全員に配布され喜ばれた。（添田）



16 回生

今年は藤沢地区が当番幹事で、平成 12 年 3 月 25 日湘南高校の清明会館で卒業以来 59 年ぶりに母校で開催しました。16 回生は卒業時には 188 名居りましたが、現存者は 94 名で今回の出席者はちょうど 40 名でした。

正午に清明会館に集合し、校内幹事の太田先生のご案内で、新校舎を見学して回りました。その後、清明会館・食堂で開会挨拶・物故者に対して黙禱を行い、今回は特別に 18 回生の鍋木 創さん作曲の「湘中懐古の賦」の歌唱指導をご本人より受けました。歌唱指導の際は女性卒業生 7 名の応援をいただき有難うございました。

ついで昨年 11 月から 12 月にかけて入院されておられた春原先生のご挨拶をいただきましたが、お年にもかかわらず、お元気なので安心しました。引き続き、湘友会の先輩添田先生 から、湘中から湘高への衣替えに際しての裏話などを伺い、参考になりました。

また、懇親会の途中では、石井正敏君が「相撲甚句」を歌い、会を盛り上げてくれました。（甲斐久勝）



18 回生

暑かった今年の夏もようやく過ぎ去った平成 11 年 10 月 14 日、本年度の同窓会は横浜崎陽軒マダリの間で開催されました。卒業してからはや 56 年、物故された方も多くなりましたが、遠くは福岡から参集の方も含め、参加者は 51 名でありました。ご高齢の恩師春原淳三先生も参加され、湘中の昔話や教育者として歩まれた道のりなど、感慨深いお話があり、ご持参された昔の写真などを中心に、歓談の一時を過ごしました。それぞれの語らいの中から、木造であった嘗ての校舎、若かった



その頃の面影などが甦り、思い出多い会でありました。最後に同窓鎌木創氏のタクトにより校歌を高唱し、来年の再会を期して会を閉じました。(石川哲夫)

19回 からす森会

戦後いち早く同期会を結成、熱心な運営を続けてきた吉田義信会長が病に倒れたのを機に、宮田輝彦君等が幹事となり、会を4班に分けて運営して行くことが決まった。12月に永眠した吉田君を含めた故人の法要と総会を茅ヶ崎で4月12日開催。茅ヶ崎以西のA班(代表横森君)が幹事として運営。現役後輩の体位向上のため毎年寄付を続けてきたが、今回を限りとして6万円の寄付を申し出、学校は対組の種目別にカップを備え、からす森会の厚意を記念することになった。(添田)

20回・4卒の会

平成11年11月13日、例年通り、ウイング藤沢で総会が開かれた。春原、井上両先生をお迎えし、67名の会員が集い、植木藤沢地区幹事の司会、内山会長の挨拶で始まり、和気藹々の中、楽しい一時を送った。

“20回4卒”は、終戦の年の3月に、5年生と同時に繰り上げ卒業したもので、春原先生の発案で昭和の年号と卒業年度が一致するよう21回生ではなく“20回4卒”とされた様である。3年生の頃から農家の勤労働員に駆り出され、4年生になると、本格的に、別々の軍事工場に分かれ、ある者は危険な作業に、ある者は夜勤に従事し、とても勉強どころではなかった。心身の成長期にひもじい思いをし、学力は3年程度、更に、進学は新制に切り替わる混乱期、大学卒業の昭和26年、27年は朝鮮戦争がらみで未曾有の就職難と苦難の歴史であった。そのため結束も堅く故長谷川達雄君(元湘友会藤沢支部長)を中心に、しばしば同期会が開かれていた。



平成8年、湘南高校新築祝いとして30万円相当の記念品の贈呈を申し入れたが、今回漸く念願がかない、カレンダー時計が母校の多目的ホールに設置された。舞台右横の壁面にブルーに輝き、一同その写真を回覧し喜び合ったのである。尚、次回湘友会総会には、卒業年度末尾一桁が世話役とのことで“20回4卒生”多数出席するよう、会員に依頼しました。(松本文司)

21回・22回生

本年当番の茅ヶ崎・平塚地区メンバーが主になって企画、平成11年9月28日、同期の西島桂吉君の好意による箱根湯本のホテルパークス吉野で一泊の同期会を開

催。恩師の春原・添田の二先生を迎え、50名を超える大盛会。遠く九州佐世保からの病院長の友、卒業以来52年ぶりの友等々、自己紹介やら恩師を交えての懐旧談に時を忘れ、翌朝次会を約して散会した。なお、当日次会の当番の横浜地区メンバーの出席がなかったが、宮田君が終身幹事長を買って出て、次回も一泊で同ホテルでの開催を声明。さてどうなりますか、同期の方々、乞うご期待。(澤)



25回生

平成11年11月12日、東京・横浜地区が幹事で、横浜ベイシエラトンで開催。雨の中を70名が参集。来賓は、春原、鈴木、竹下、斎藤、添田の恩師と65名の会員、殊に博多の山下君等の珍しい顔がそろった。天皇即位10周年祝典から駆けつけた岡崎知事の挨拶は、最近の軟弱・無責任な世相を憂えるものであった。次回幹事は逗子・葉山地区となった。(添田)

30回生

恒例総会を平成11年11月20日、藤沢ウイングで開催。会員90名、来賓10名の盛況。「30回生なら出ねえ訳にはいくまい」と法服姿の金子先生、春原先生と共に90歳を迎えられても甚だお元気。テーブルごとの撮影には担当が加わり、大きな花束が贈られた。壇上挨拶には、野次や笑いが渦巻く。大公使生活の長かった山口洋一君が挨拶、早稲田大学の教壇に立っているようで、多忙な国会から参会した亀井善之君と共に特別に若く見えた。(添田)

31回生

卒業後43年経った31回生は、10回目の同期会を平成11年8月21日、鎌倉芸術館で開いた。最近恩師のご講演が呼び物で、村田邦夫先生、小山文雄先生、細谷真澄先生をお願いしてきたが、今回は武藤孝男先生にご講演をお願いし、その後懇親会を開こうということで呼びかけたところ、80人近い人数が集まった。武藤先生は、昔と変わらぬお元気な姿で「反面教師 来し方を振り返って」というテーマで講演され、湘南時代の授業を思い出させる所もあり、参加者に深い感銘を与えて下さった。

懇親会には、斎藤先生、小山先生がお元気な姿を見せて下さり、いつもより盛り上がった。そして次回は2年後になり、ちょうど湘友会総会を担当する当番年になるので、一人でも多く母校に集まり、80周年の総会后、我々の同期会をやるかと幹事を決めて散会した。(内海)

38 回生

平成 11 年 10 月 30 日、55 歳を迎えたのを期に 5 年ごとに開かれていたのを一年早めて、5 回目の同期会をもちました。恩師の添田・雨宮・落合・大塚・澤・杉山の各先生方を含め 100 名もの出席者があり、いつも通り岩井・太田の両氏の司会で、幹事長の村松氏の挨拶・亡くなられた方への黙祷で始まりました。生徒の中にはだんだんと先生方と見分けがつかなくなり始めた人もいましたが、しばしの歓談の後にはお互い高校時代の面影と向き合っていたようです。最後に大勢なのでクラス別の写真を撮りましたが、一年のクラスでも撮ろうと言うことになり当時の担任を囲み大騒ぎで写真におさまりました。(最後まで自分のクラスの判らない人もいました...) 引き続きもたれた同じ藤沢グランドホテルでの二次会にも 60 名もの大勢の仲間が参加して遅くまで楽しい懐かしい一時を過ごしました。

また 38 回では、石井氏のお世話で年に数回のゴルフコンペを行っています。毎回初参加の仲間が加わり顔ぶれは少しずつ変わりますが、恩師や女性を含めて 20~25 名余の参加者があります。プレー中は、恩師も先生であることを忘れ、同級生になって楽しんでいます。この一年間には、平成 11 年 3 月、6 月、11 月、平成 12 年 2 月の 4 回開催され、次回は 6 月 11 日に行われることになっています。(渡辺縫子)

いろいろ湘友会

第 4 回湘中剣道部 OB 会

平成 11 年 5 月 9 日、茅ヶ崎グランドホテルで開催された。平成 6 年 5 月 8 日藤沢市民会館にて第 1 回 OB 会を開催し、その後第 2 回・第 3 回・第 4 回と茅ヶ崎グランドホテル(オーナー森谷君²⁰の協力を得て)にて開催している。今回は若月・林(旧姓・尾崎正二)両先生には体調が思わしくなく欠席されましたが、稲葉会長(旧姓森¹⁷)を始め 28 名が参会された。出席予定の方がだいぶ欠席されましたが、古希をすぎればいたしかたないことと思います。さて会是小菅君の司会で、会長挨拶・経過報告から自己紹介に移り、たちまち 55 年の時空を超越して湘中の美少年に戻り、いろいろと面白い思出話も飛び出した。校歌・応援歌の合唱で大いに盛り上がり、最後に鍋木君の指導で「湘中懐古の賦」作詞本間桂・作曲鍋木創の練習をして盛会裡に散会した。



尚、次回第 5 回 OB 会は平成 13 年 5 月の予定です。

剣道部員で通知の行かない方はお手数ながら下記までご一報下さるようお願いいたします。

鎌田 稔 0466-22-5797
安藤 寛之 0466-22-2416

軟式野球部 44 回生

卒業 30 周年記念パーティー

湘南高校軟式野球部 44 回生卒業記念パーティーを、去る平成 12 年 2 月 5 日午後 6 時から、横浜東口の崎陽軒本店にて開催いたしました。当日参加したのは同期卒業 10 名のうち、9 名でした。時々会って良く知っている人はともかく卒業以来はじめてと言う人もいて、どのように変身しているのかまったく想像つきませんでした。会った瞬間誰であるかを思い出すための時間は必要ありません。姿・形に多少の変更のあった人もいましたが、基本的には、皆昔と変わらない印象を受けました。しばらく話しているうちに料理が運ばれてきて乾杯となり、そのときすでに全員高校時代に戻ったように(酒があることが違うくらい)はしゃいでいました。

ところで、我々の代には御成中学出身者が大半(8/10)を占めていたこともあって、チームとしては(強弱に関係なく)非常にまとまりがよかったと思います。今では考えられないことですが、当時は御成中学から毎年 60 人近くが湘南に来ていたわけですから、連れ入部でこんなこともあったのです。また、我々の頃は女子が二割もいなかったと記憶していますが、今は半分以上いるといったら皆驚いていました。昔話に花が咲き、シンとなる瞬間は一度もなく、一年生秋の新人戦のこと(皆一番思い出に残っていることと思われ)現役で東大を受験できなかった?こと(東大紛争で入試が中止になった唯一の年です。その影響かどうかは定かではありませんが、東北大と早稲田大学に二人の外は浪人しました。)ゴルフのこと、近況などと話は尽きず、なかには商談まで飛び出し、予定の 3 時間はアツという間に過ぎてしまいました。帰り道の遠い人(群馬県や千葉県)もいましたが、直ちに近所の居酒屋に場所を移して二次会となり、再び盛り上がりました。小生は次の日二日酔いで約束をキャンセルせざるを得なくなりましたが、皆かなりの酒飲みに成長していました。(44 回生 横山幸男)



福祉湘友会

1 月 15 日(土) 藤沢ホテルにて恒例の新年会を開催いたしました。今回は 16 回生から 72 回生まで非常に幅広い世代の 19 人が集いました。多様な職種の者



が顔を合わせ、情報交換をするとともに親睦交流を深めました。初めての人が多かったためか話が弾み、予定の時間をかなりオーバーしました。

次回は7月8日に、清明会館を借りて研修と懇親の回を開催する予定です。テーマは「児童養護施設の現状」を考えています。

問い合わせ、連絡は下記まで

奈倉平三郎³⁷

0467-22-8950(自宅)0467-44-8315(職場)

小林 博⁴⁶

0466-36-3379(自宅)0466-25-5551(職場)

サンパウロ湘友会を訪ねて

矢澤 清²⁸

先ず、自己紹介。小生は本校を昭和28年3月に卒業後、昭和35年(1960年)にブラジルへ渡航して以来、長期滞在、短期滞在を含め、しばしば日伯両国を往復している建築家です。昨年秋、9~10月と、第1回訪伯から数えて39年目、最近の訪問からすると5年振りに何回目かの旅行をしてきました。

1994年の時は気がつかなかったのですが、1996年9月30日付け湘友会会報38号でブラジル・サン・パウロ市にも、サン・パウロ湘友会が存在し、随時会合を持っている由を識り、今回の訪問時に私の方から声を掛け、僅か5名でしたが集まり、少年時代、ブラジル到着時代の思い出に花を咲かせました。

その際、34年卒の森君の労作になる在サン・パウロ湘友会交友名簿を入手しましたので、整理したものを編集部にお届けいたしたく、同封いたします。写真は、サン・パウロの日本料理店で撮ったものです。出席者は、前列中央の小生と、写真右の中山先輩²⁴の他、森³⁴、熊沢⁴¹、古口⁴¹君達です。



小生の経験からすると、同じ大学の交友関係は、割合とすぐ識り合えますが、高等学校となるとなかなか会話の中にも浮かんでこず、識りあってから長時間経って、やっと「ああ、おまえも湘南か…」

という場面が多く、その意味でも、情報を丹念に採取し纏めてくれた森君の労は大であると感謝するものです。

重複しますが、会報38号当時は6名しか確認出来ていませんでしたが、その後、帰日者達の情報を含めて、18名と言う多数の交友の縁が地球儀上では藤沢の反対地に繋がっていたことが分かり、中山さん、森さん達の快挙であると思います。何と、初代校長赤木先生のお嬢さんがブラジルにいらっしゃることも判っており、驚きです。

以上、情報入手以来、少し時間がたちすぎましたが、サン・パウロの諸兄への義理が果たせたかと思えます。良き紙面づくりと、湘友会の発展を祈ります。

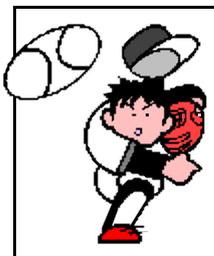
□ □ □ □ □ □

トピックス 甲子園夏の高校野球

全国制覇 50周年を祝う会

野球部 OB 会長 田中孝一²⁵

昭和24年、湘南高校野球部は夏の全国高校野球選手権に優勝した。創部3年目の快挙を当時の新聞は「無欲の勝利」とたたえた。平成11年、その優勝からちょうど50年目の節目の年を迎え、優勝メンバーは8月、熱戦の続く思い出の甲子園球場に集結し、往時を懐かしく回想する機会を得た。



そして秋も深まった11月13日、私たち野球部OB会は、全国制覇50周年「湘南球児の栄光を祝う会」を藤沢市民会館で開催することになった。当日のオープニングでは、司会の鍛純子さん(39回)のリードのもと、優勝メンバーが古関祐而作曲の大会歌「栄冠は君に輝く」の軽快なメロディにのって、母校ユニフォーム姿で入場するという演出がなされた。優勝時と翌年の優勝旗返還時に、甲子園でプラカードを持ってくれた北村さんと井上さんが、はるばると関西から駆けつけ、その先導をつとめてくれた。優勝旗(レプリカ)は、主将だった私が捧げ持ち、平井君²⁷は市瀬先生(当時の部長)の遺影を抱いての行進である。 晴 れ



がましくもステージに勢ぞろいした私たち12人のオールド湘南球児に、会場から大きな拍手がわいた。乾杯の音頭はこの優勝を一緒に喜んでくれた同級生の岡崎君(県知事)。続いて、甲子園の決勝戦を伝える当時のニュース映像が上映される。半世紀のタイムスリップに、皆感慨深げだった。

さて、その日の特別ゲストは、県大会の決勝を戦った県立商工のエース大沢啓二さん(元日本ハム監督)と、甲子園の決勝で熱戦を展開した県立岐阜高校のエース花井悠さん(元西鉄ライオンズ)である。優勝メンバーのひとり佐々木信也君(27回)の軽妙な司会で、3人によるトークショーが始まる。「今でも、湘南に負けた気がしない」「俺たちの方が強かったよ」といった発言も飛び出し、会場は和やかな笑いに包まれる。グッド・ルーザー(良き敗者)を称えるという甲子園の伝統にのっとり、二人をお招き

したのである。

その日は、野球部がお世話になった国府津館の蓑島さんを始め、ゆかりの方々もお招きし、金子先生(当日欠席)、添田先生、春原先生などお世話になった先生方には、野球部OBから感謝の花束をお贈りした。私たち野球部関係者の他、優勝時の在校生、地元の伝統校鎌倉学園OB会、一般の方々など210名という多数の参加をいただき、会場にはいくつもの歓談の輪が広がる。田村校長、中西野球部監督³¹の挨拶に続き、最後は「青春の歌」「校歌」の大合唱となる。リードは昭和29年選抜大会出場時、甲子園の応援団長をつとめた深谷君³⁰。

優勝当時、日本はまだまだ貧しい時代だったが、母校湘南にはまぎれもない「熱い青春」があった。私たちは歌いながら湘南高校に学ぶことのできた喜び、そこで思いきり野球に打ち込むことのできた幸せを思い、あの遠い日々の感激がよみがえるのであった。

追補 大勢集まりましたねえ

当時の後援会長の故中村彦左衛門博士子息の純一君²²、故村上芳三氏子息の言孝君²⁷、校医の中山二郎先生)、凱旋のチームに入浴と朝食を供した国府津館主の箕島清夫氏、当時の添田副部長、PTA委員だった春原淳三先生、湘友会長の杉山巖氏、野球部初代主将の大野迪朗氏・2代主将の佐々木道也氏等のOB、優勝チームの田中首相、平井捕手、斎藤(岡本)一塁手、宗性遊撃手、脇村三塁手、根本外野手、佐々木外野手、原田外野手、叢君、中村君、高橋マネージャー。物故された菊池外野手、古家二塁手、高田二塁手の姿が見られないのが、少しさびしい。

この会は、すべてを野球部OBが立案し、準備し、運営して成功させたものである。別に、野球部史(第2号)の発行も間近いとのこと。本当に、青春の思い出はいつまでも続くものである。(添田)

トピックス

80年を見つめ続ける校長室の戸棚

昭和33年(1958年)の母校火災で焼け残った校長室の書類戸棚は、大正10年(1921年)の創立以来の備品として、それまで4代にわたる校長の用に供してきたものであった。とくに初代赤木校長の在職は27年間、何としてでも貴重な遺産として遺しておきたいものであった。その後は、校内の湘友会用の倉庫部屋に保管していたが、現在の新校舎の建替え期間(平成5~8年)にどうしたらよいだろうかという問題が生じた。思案のあげく、当時まだお元気だった桜井先生にお願いしたところ、先生ご夫妻の快諾が得られ、お預かりいただくことができた。それにしても、工事期間の3年余り、桜井家にはご迷惑をおかけしてしまったことになる。ありがとうございました。

この初代校長手沢の書類戸棚は、現在新校舎の資料室に永久保存されることになって、来年の創立80周年をじっと見つめている。

皆様の厚意があって、伝統は守られて行くのである。

トピックス ホームページ開始

湘友会も電脳化

湘友会事務局にも、コンピューターがあるのです。

湘友会報は、一昨年(1999年)からコンピューター編集に切り替えて、少しずつ電脳化して時代の流れに乗り遅れないようにしております。不慣れだった事務局編集部も、徐々に慣れてきました。

さらに2000年の今年から、湘友会がインターネット上にホームページを立ち上げました。アドレスは<http://www.syoyukai.org>です。



現在ご覧になれるのは

湘友会報のバックナンバー

とりあえず電子データとして存在する1998年の40号からです。いずれ、湘友会報マニアには、幻のアイテムと言われ、現存するかどうかも怪しい第1号などもあれば載せたい。

湘友会及び湘南高校の最新ニュース

そもそも疎遠な湘友会の活動。卒業してしまうと疎遠になりがちな母校の現況。これらのホットな状況をお知らせしたい。

掲示板

同じ高校出身といっても、年次が違えばお互いがわからない。それでも、チョットした話題をきっかけに話は弾むもの。例えば...

- ・ 先生のお話ご存知の方?
- ・ ブラジルに赴任しますが、現地情報お持ちの方いらっしゃいませんか
- ・ 体育祭の歴任総務長に女性がいたのでしょうか
- ・ xx大学経済学部に入りたいのですが、在学中の先輩のお話を聞かせて下さい

住所変更

この湘友会報も、約2割があて先不明で戻ってきています。郵便連絡で変更通知をお待ちしていますが、ホームページでも変更連絡は可能です。

湘友会電脳化チームのスタッフを募集中

湘友会ホームページ制作班ではボランティアスタッフを募集しています。内容の企画、インタビュー、ネットワーク技術、ホームページ制作等、さまざまな種類の仕事があります。在宅でも可能です。大学生、主婦、会社員、退職者問いません。貴方自身の電脳化のトレーニングにもなります。

やっていただける方は、事務局までご連絡下さい。

湘南紳士録 37 話 荒間 蒼海

土佐の本節 池田武邦 の
三種の神器 (縁・運・自然)

瀬戸内水軍頭目の末裔
池田家の人々
土佐の本節 (ほんぶし: 本武士)
東大の建築科
超高層のはしり・・電ヶ関ビル
先人の知恵に学べ
長崎にユートピアを
司馬遼太郎との邂逅
第二の恋人・・ヨット「矢矧」

タイトルのみのご紹介とさせていただきました。
内容につきましては
湘友会報をご覧ください。

事務局から

- ・ 湘友会報もすべて電腦バージョンになりました。会報には載せられなかった写真が入った会報が、ホームページで見ることができます。
- ・ 湘友会の会務をお手伝いいただけるボランティア OB&OG を募っております。事務局までご連絡下さい。
- ・ 毎年 3 月末までに届いた同期会やクラス会などの連絡記事は、会報に掲載できます。
- ・ 連絡先明記の上、A4 版用紙に記事 (横書き) や写真などをまとめて事務局に直接お送り下さい。

来年2001年の総会は、母校創立80周年の総会です。運営は卒業年次末尾1の方々が中心になります。31回生、41回生、51回生の皆さん、よろしくお願ひします。

第42号の編集スタッフ

添田徳積 / 澤昌男²² / 堀田暁子²⁸ / 深川和子²⁹ / 二宮毅³⁰ / 鈴木直人³⁶ / 宮代昭子³⁶ / 大谷昌夫³⁷ / 渡辺縫子³⁸ / 長沢郁夫⁴⁹ / 電腦チーム

湘友会会員のメーリングリスト

昨年の会報でもご紹介しましたが、湘友会会員有志の間にインターネットを使った情報交換の場、メーリングリストがあります。これは湘友会活動とは別の、有志のネットワークですが、仕事の息抜きや話題であったり、遊びの話などさまざまな話題が飛び交います。この輪が広がれば、海外留学や海外勤務されるような場合も有効でしょう。詳細は前号会報を参照、あるいは湘友会事務局まで。